



おおたの教育

今号の主な内容

- 1面 おおた教育ビジョン策定
- 2面 教育長所信表明・家庭教育コラム
- 3面 夏のわくわくスクール
- 4面 環境事業の紹介

はねびよん©大田区

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

～豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる～



おおた教育ビジョン(第3期大田区教育振興基本計画)を策定しました

このたび大田区教育委員会では、これまでの2つの『おおた教育振興プラン』『おおた教育振興プラン2014』による10年間の取組の成果をもとに、令和元年度から5年間の教育振興基本計画として「おおた教育ビジョン」を策定しました。

本計画では、急速に変化し続ける未来社会を見据え、教育施策を推進する基本的な視点として、4つの「ビジョン」を示しました。また、これらのビジョンを踏まえ、重点的に推進する施策を体系化するため、6つの「プラン」をまとめ、具体的な事業展開への道筋を示しました。引き続き、教育の普遍的な目的である「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人間性の育成をめざすとともに、これからの5年間で特に伸ばしたい力を「未来」として位置づけ、子どもたちの未来を創る力をはぐくんでまいります。

本計画の策定にあたり、平成30年8月に学識経験者、区民公募委員やPTA等の教育関係団体の代表者で構成する「新おおた教育振興プラン策定懇談会」を設置し、意見聴取を重ね、平成31年2月に素案を策定しました。さらに、同年3月11日から31日の間でパブリックコメントを実施し、同月15日には区民説明会を開催するなど、区民の皆様からも意見を聴き、同年6月に計画策定に至りました。

今後も区民の皆様のご理解、ご協力をお願いするとともに、皆様の期待に応える質の高い教育の実現に向けて「おおた教育ビジョン」の諸施策に全力で取り組んでまいります。

HP: <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/kyouikuseisaku/otakyouikubijyon.html>

ビジョンⅠ

社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力を育成する

プラン1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】

コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力など、これからの社会の変化にしなやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。

- ・「コミュニケーション能力」・「論理的、科学的な思考力」
- ・「情報活用能力」・「ともに生きる力」
- ・「健康増進・体力向上」



プログラミング教育

プラン2 学力の向上【知】

児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。

- ・「基礎的な知識・技能」・「思考力・判断力・表現力」
- ・「主体的に学習に取り組む態度」



授業風景

プラン3 豊かな心の育成【徳】

子ども一人ひとりの健全な正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。

- ・「道徳性の涵養」・「豊かな情操や感性の醸成」
- ・「主体性の育成」・「保幼小中一貫した心の教育」



あいさつチャレンジ

プラン4 体力の向上と健康の増進【体】

スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。

- ・「体力の向上」・「スポーツを楽しむ態度」・「健康づくり」
- ・「基本的な生活習慣の確立」



中休みの外遊び

ビジョンⅡ

「知・徳・体」の調和のとれた成長を図り、豊かな人間性を涵養する

プラン5 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】

児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくり出します。

- ・「特色ある学校づくり」・「教員の指導力の向上」・「主体的・対話的で深い学び」
- ・「学校組織の活性化」・「教育環境の整備」・「特別支援教育の充実」
- ・「いじめ問題、不登校対策の充実」・「安全・安心の向上」



大森第四小学校 新校舎

ビジョンⅣ

地域の特色を生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育てる

プラン6 学校・家庭・地域が一体となってもすすめる教育【学校・家庭・地域】

学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現をめざします。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みをつくり出します。区民が生涯を通じて学び続ける拠点として図書館機能の充実を図り、学び合いによる地域づくりを進めます。さらに、地域の歴史・文化資源の保護、活用を進めます。

- ・「地域とともにある学校づくり」・「安全・安心な環境づくり」
- ・「家庭教育への支援」・「教育相談の充実」・「地域への愛着を育てる教育」
- ・「図書館の整備と文化財保護」



昔遊びを通じた地域交流

区議会
第1回
臨時会

教育長所信表明



令和元年区議会第1回臨時会(5月22日)、小黒教育長が登壇し、所信表明を行いました。

本日は、新たな大田区の教育振興基本計画である「おおた教育ビジョン」について申し述べさせていただきたいと思っておりますが、その前に、私が「子どもたちの可能性」について感じたささやかなエピソードをお話しさせていただきます。

「子どもたちの可能性」

今年1月の「成人のつどい」で、新成人の皆さんに配られたクリアファイルをご覧になった方はいらっしゃるでしょうか。和モダンの吊るし雛と、人生の道のりを思わせる流れるような帯を背景に、美しい毛筆で「我を彩る」と書かれており、成人として、自らの個性に彩りを添え、自分らしさを大切に生きていこうという意気込みが感じられます。

実は、そのファイルをデザインし、文字を書いたのは、私の教え子なのです。教え子と申しましても、私が校長として赴任した小学校の当時4年生だった女性です。その女性が成人のつどいの実行委員を務め、ファイルをデザインしたそうです。昨年、私は、その子と再会し、地域での活躍ぶりと成長に驚かされました。

当時、その子はカエルなどが大好きな、とても元気なお子さんでした。

また、その子には、当時2年生の弟がおりましたが、彼もまた、区内の高校に進み、弓道でインターハイに出場し、今は、体育大学に進学

してさらに弓道を究めようとしているそうです。

私は、不覚にも、当時の9歳と7歳の幼い姉弟の姿から、地域のリーダーとして活躍する姉の姿や、弓道で全国的に活躍している弟の姿を思い描くことはできませんでした。現在の成長した姿を見て、改めて子どもたちのもつ可能性の大きさを感しました。

しかし、成長し、可能性を伸ばしているのは、この姉弟ばかりではありません。全ての子どもたちが、日々の教育の下に成長し、可能性のつぼみを膨らませております。

本年度新たにスタートする「おおた教育ビジョン」につきましても、大田区の全ての子どもたちの可能性を最大限に伸ばし、成長を図るという教育委員会の強い願いと重い責任のもと策定しております。

※「おおた教育ビジョン」については、1面特集記事を参照

「学ぶことは生きること」

冒頭に申し上げましたように、子供たちには、大きな可能性がございます。しかし、子供たちばかりでなく、全ての人間には、年齢を問わず、未来、将来に向けて可能性があると思し上げるべきかと思えます。

十数年前、区立の夜間中学校の授業を参観い

たしました。夜間中学校は、現在は外国籍の方も多いのですが、何らかの理由で義務教育を終了できなかった方が年齢を超えて学ぶ場でございます。

その授業は、顕微鏡で微生物を観察する理科の授業でした。白髪の70歳は超えていらっしゃるかと思われる女性が一生懸命に顕微鏡の焦点を合わせていましたが、突然、手をピンとあげて、「先生、見えました。」と自分の娘くらいの年齢の先生を大きな声で呼びました。そのお年寄りの生き生きとした表情を拝見して、「学ぶことは、生きることだ」と、深く感銘を受けました。初めて顕微鏡で見た微生物の姿は、その女性にとって感動的で、生きる意欲を掻き立てるものであったのだと思います。

未来社会では、年齢、性別、国籍の違いや様々な既成概念を超え、学びを通して新たな可能性を拓くチャレンジ精神や柔軟な発想も重要であると考えます。

哲学者のニーチェの言葉には、「過去が現在に影響を与えるように、未来も現在に影響を与える」という言葉があります。

大田区教育委員会は、未来社会をしっかりと見据え、子どもたちの可能性を最大限に伸ばし拓く、質の高い教育の実現に向けて、「おおた教育ビジョン」に基づく総合的な教育施策を、区民の方々の理解と参画をいただきながら全力で推進してまいります。

家庭教育 コラム

親子の夏休みの過ごし方



臨床心理士(大田区立教育センター教育相談員) 中村 暁子

□親子の距離感

もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休み。その一方で、親はいつも以上に子どものだらしないさが気になったり、なかなか勉強しない子どもにイライラしたり。



楽しい夏休みのはずがいつの間にか小言が増え、親子関係がギスギスする、なんて経験はありませんか? 親子がいっしょに過ごす時間が長くなると、「あれをしなさい、これをしなさい」「あれはダメ、これはダメ」と指示や禁止が多くなってしまふのかもしれない。

子どもは成長するにつれて素直に親の言うことを聞かなくなり、「うるさいな」「放っておいてよ」と反抗的な態度を取るものです。これは子どもに自立心が芽生えている証拠です。親はこれを成長と捉えて少し対応を変えてみましょう。親があれもこれも決めるのではなく、自分でルールを決めさせたり、親子で話し合ってルールを決めたりすると良いでしょう。子どもが自分で考えて決める、それを責任をもってやらせる。親はそれを見守り、必要な時に手を貸す。これが親子の程よい距離感のポイントです。

□子どものSOSに対しては?

夏休みは楽しいことがたくさんある一方で、学校の先生の目が届かないところで友達とトラブルが起きたり、新学期が近づくと不安を感じたりするなど、子どもの気持ちが不安定に揺れることがあります。そんな時子どもたちは、様々な形でSOSのサインを出します。元気がない、眠れない、食欲がない、家族と話さなくなるなど表れる形は様々です。お母さん、お父さんに話してみようかなと思う子もいるでしょう。

そんな時、親が真剣に話を聞いてくれないと「忙しそうだからまた今度にしよう」と思って話すのをやめてしまいます。また、子どもの話に対して親が動揺してオロオロすると、子どもは「困らせてしまうから話すのをやめよう」と思ってしまいます。お父さん、お母さんがドンと構えて子どもの話を受け止める心構えが大切です。「真剣に聞いてくれている」「自分の気持ちを受け止めてくれた」と感じると、子どもは安心し、話してよかったと思います。次に何かあった時にもお父さん、お母さんに話してみようと思うのです。

□思春期の子どもには?

思春期は、悩みが深くなったり、悶々としたり、イライラしたり、気持ちが揺らぎやすい時期でもあります。この時期は子どもの心に無理に入り込もうとせず、ほどよい距離感を保つことも大切です。そばでそっと見守りながら「いつでも話を聞こう」「何かあったら言ってね」という態度で接すると良いでしょう。



夏のわくわくスクール

大田区立小中学校では、夏休み中に子どもたちの体験活動の充実を図ることを目的に、夏のわくわくスクールを実施しています。平成30年度は、小学校でのべ2248講座、中学校でのべ753講座が開催されました。

教員をはじめ、保護者、地域、企業等の協力を得て、児童・生徒の個性や能力を伸ばすための様々な講座を行っています。

平成30年度に区内小学校中学校で開催された講座の紹介



赤松小学校
キックボクシング



大森第五小学校
お笑い落語教室
柳家さん光と川田校長



矢口中学校
くるくるまわる
コマで実験(理科部)



清水窪小学校
スライムづくり

★今年の「夏のわくわくスクール」の内容及び開催日は、各校にお問い合わせください。
★講座は、その学校に在籍している児童・生徒が対象です。他校の講座には参加することはできません。
問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

郷土博物館

郷土博物館では、郷土の歴史を学び、昔の暮らしを知ることができる体験学習会を開催します。ぜひ、夏休みに特別な体験をしてみましょう。

No.	開催日時	体験学習会名	内容、対象、定員	費用
①	7月23日(火) 13:00~16:00	麦わら遊び・ホタルカゴづくり	麦わらで昔の虫かごを作ります。 小学3年生以上、30名	—
②	7月26日(金) a.13:30~16:00	勾玉づくり	滑石を加工して自分だけの勾玉を作ります。 小学生以上、各回30名	350円
③	7月27日(土) b.9:30~12:00 c.13:30~16:00			
④	7月30日(火) 13:00~16:00			
⑤	8月2日(金) 10:00~16:00	大麦の脱穀と麦粉菓子づくり	昔の農具を使って麦を脱穀し、麦粉菓子や麦茶を作ります。 小学3年生以上、30名	—
⑥	8月18日(日) 10:00~12:00	多摩川台公園古墳探検ツアー	多摩川台公園内を探検し、大田区古墳について学びます。 小学3年生以上と保護者、10組	—
⑦	8月20日(火) 13:00~16:00	麦わら遊び・大森麦わら張り細工	染色した麦わらの張り絵で、世界で一つしかない麦わら張り細工を作ります。 小学3年生以上、30名	400円
⑧	8月21日(水) 13:00~16:00	麦わら遊び・ガラガラづくり	麦わらを使って昔の子供のおもちゃを作ります。 小学3年生以上、30名	—
⑨	8月22日(木) 10:00~16:00	六郷のとんび凧づくり	江戸時代の終わり頃から六郷地区で作られていた「とんび」の形をした凧を作ります。〔六郷とんび凧の会協力〕 小学4年生以上と保護者、15組	1500円

【持ち物など】

- ①④⑦⑧はハサミ
- ②③はタオル・エプロン・マスク
- ⑤はタオル・帽子・昼食・飲み物
- ⑥はタオル・帽子・歩きやすい靴・飲み物・筆記用具
- ⑨はハサミ・昼食

【会場】郷土博物館 〒143-0025 南馬込5-11-13

【主な交通手段】

- 都営地下鉄浅草線「西馬込」駅東口から徒歩7分(約450m)
- JR「大森」駅北口改札(山王方面)東急バス4番のりば「荏原町駅入口」行きで「万福寺前」下車、徒歩2分(約150m)

【申込】7月11日(木)午前8時30分から、いずれも電話で受付(先着順)

問合先 郷土博物館 TEL 3777-1070 FAX 3777-1283



大森 海苔のふるさと館

大森 海苔のふるさと館では、大森が日本を代表する海苔の産地として栄えたころの道具を展示しています。夏休みには海と海苔をテーマに体験学習会を開催します。

No.	開催日時	体験学習会名	内容、対象、定員	費用
⑩	7月21日(日) 13:00~16:00	ペーパークラフトで海苔とり舟づくり	江戸時代から使われていた海苔とり用の「ペカブネ」を本物と同じように紙で作ります。 小学生以上(小学生は保護者同伴)、20組	—
⑪	7月28日(日) 9:30~12:30	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集や観察を通して、海の生き物に親しみます。 小学3年生以上、20名	100円
⑫	7月30日(火) 13:30~15:30	タペストリーづくり	海の仕事の結び方でタペストリー(壁掛け)を作ります。 小学3年生以上、20名	—
⑬	8月9日(金) 13:30~15:30	自然素材でフォトフレームづくり	海苔簀と同じ方法で自然素材のヨシを編み、貝などで飾り付けたフォトフレームを作ります。 小学3年生以上、20名	—
⑭	8月11日(日) 13:00~16:00	自由研究で海苔を調べよう	海苔の話の聞いたり、貴重な記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学び、ワークシートを完成させます。 小学3年生以上、30名	—
⑮	8月18日(日) 13:00~15:30	フジツボを観察しよう	プラスチック板の仕掛けに付いた赤ちゃんフジツボを観察したり、フジツボが好きな環境を調べたりします。 小学3年生以上、20名	100円
⑯	8月22日(木) a.9:30~11:00 b.13:30~15:00	貝から工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を作ります。 小学生以下(幼児は保護者同伴)、各回40名	—
⑰	8月25日(日) 9:30~12:30	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集や観察を通して、海の生き物に親しみます。 小学3年生以上、20名	100円

【持ち物など】⑩⑫⑬はハサミ

- ⑩⑰は帽子・タオル・飲み物・濡れてもよい服と靴(かかとのあるもの)・着替え・筆記用具
- ⑭は筆記用具・ノート・バインダー
- ⑮は帽子・タオル・飲み物・筆記用具
- ⑯はハサミ・空の紙箱

【会場】大森 海苔のふるさと館
〒143-0005 平和の森公園2-2
(「大森ふるさとの浜辺公園」と「平和の森公園」の間)

【主な交通手段】

- 京急「平和島」駅から徒歩15分(約950m)
- JR「大森」駅から「平和島循環」バスで約20分、「平和島五丁目」下車徒歩3分(約130m)

【申込】7月11日(木)午前9時から、いずれも電話で受付(先着順)

問合先 大森 海苔のふるさと館 TEL 5471-0333 FAX 5471-0347



「地球にやさしいまちづくり」 ポスターコンクールの開催

環境問題に対する理解と関心を深めてもらうことを目的に、区内の小中学生からポスターを募集します。楽しい夏休みを過ごす中で、「環境」をいろいろな視点で考え、ポスターに表現してみませんか。

作品テーマ

- ①ごみ減量・リサイクル
- ②地球温暖化の防止、省エネルギー
- ③まちの美化
- ④緑・自然

応募資格

区内在住・在学の小中学生

応募規程

作品は画用紙四つ切サイズとし、使用する画材は自由です。作品の裏面中央に学校名、学年、氏名、ふりがなを明記してください。

- ・応募は一人1作品です。
- ・未発表のオリジナル作品に限ります。
- ・特定の商品名、キャラクターなどをイメージさせる作品は応募できません。
- ・著作権は大田区に帰属します。

応募方法

〈区立小中学校に通学している方〉
9月2日(月)に学校に提出してください。

〈その他の学校に通学している方〉
下記問合先までご連絡ください。



昨年度の最優秀作品

夏休みバス見学会 「金属リサイクル施設と大田清掃工場」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のメダルは、史上初の100%リサイクルで製作されます。メダルの原料を携帯電話などの使用済小型家電からどのように取り出すのかなどを学びに行きませんか。

無料

- 開催日時** 8月6日(火) 8時30分～12時30分
- 集合・解散** 蒲田駅東口(三井住友銀行蒲田支店前)
- 対象・定員** 小学生とその保護者1人 20組【抽選】
※幼児を連れての参加はできません。
- 申込方法** 電子申請、はがき 7月19日(金)必着
- 見学先**



(株)リーテム東京工場



大田清掃工場

エコレシピコンクールの開催



楽しく、美味しく、お料理のできるエコ!
キャベツ1玉を無駄なく使い切る工夫や環境にやさしい調理のコツなどを募集します。

- 募集テーマ** キャベツを使った料理3品以上
- 応募資格** 区内在住・在勤・在学の方
(小学生以下の子どもは保護者と一緒に応募)
- 応募方法** 所定の応募用紙に記入し問合先へ提出
9月18日(水)必着
- 審査方法** 書類審査:10月中
最終調理審査:12月14日(土)



上記3つについてはこちらへ♪

■応募方法などの詳細は大田区ホームページでご確認ください。

トップページ⇒生活情報⇒住まい・まちなみ・環境⇒環境・地球温暖化対策・公害⇒区民・家庭

問合先・申込先 環境計画課 計画推進・温暖化対策担当 〒144-8621 蒲田5-13-14

TEL 5744-1362 FAX 5744-1532



受賞 おめでとうございます

第39回全国中学校スケート大会
フィギュアスケート競技 第3位

馬込東中学校 三浦 佳生



教育委員会定例会の主な議題

- 平成31年第3回定例会 3月27日(水)開催
 - 大田区教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則
 - 大田区教育委員会が管理する公文書の開示に関する規則の一部を改正する規則
 - 大田区教育委員会が管理する個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則
 - 学校職員服務取扱規程の一部を改正する訓令
 - 大田区教育委員会非常勤職員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則
- 平成31年第4回定例会 4月25日(木)開催
 - 大田区立教育センター総括衛生管理者等設置規程
 - 大田区立教育センター衛生委員会設置規程
 - 大田区立学校安全衛生委員会設置規程の一部を改正する訓令
 - 大田区教育委員会文書管理規程の一部を改正する訓令
- 令和元年第5回定例会 5月20日(月)開催
 - おおた教育ビジョンの策定について

教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①7月23日(火) ②8月7日(水) ③9月19日(木)
- 時間 午後2時から(①②の受付時間は、午後1時から午後1時40分までとなります。)
- 場所
 - ①・②南蒲田1-20-20 大田区産業プラザPiO 4階 コンベンションホール
 - ③蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア 5階 教育委員会室
- ※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合先へご確認ください。
- ※保育が必要な方は開催日3週間前までに、手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までにご連絡ください。その他特別な配慮が必要な方は、事前にご連絡ください。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535